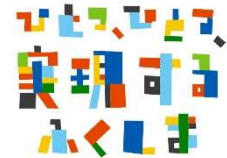


主要な農作物の生育情報



令和6年度 第3号

(令和6年6月10日現在)

福島県農林水産部農業振興課

【作物】

1 水稲

水稲の移植作業は、始期が平年より1日早い5月7日、盛期が平年並の5月15日となりました。

6月4日現在の農業総合センターにおけるコシヒカリの生育調査では、平年に比べて、本部(郡山市)は草丈が長く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっています。会津地域研究所(会津坂下町)は、草丈が短く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっています。浜地域研究所(相馬市)は、草丈が平年並、茎数が多く、主稈葉数が0.3葉多くなっています。

表1 農業総合センターにおける水稲の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	6月4日調査		
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (枚)
本 部	コシヒカリ	5.15	27.2 (108%)	124 (77%)	5.2 (-0.1)
	ひとめぼれ	5.15	22.7 (98%)	218 (126%)	5.4 (± 0)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.21	25.9 (94%)	123 (88%)	5.6 (-0.1)
	ひとめぼれ	5.21	24.1 (96%)	147 (99%)	5.5 (-0.3)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	27.6 (99%)	297 (112%)	6.3 (+0.3)
	ひとめぼれ	5.10	24.4 (92%)	327 (108%)	6.4 (+0.2)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、会津地域研のコシヒカリでは前4年平均(2019~2021, 2023年)、それ以外では前5年平均(2019~2023年)との比較

2 小麦(農業総合センターにおける生育状況)

各調査場所の成熟期は、平年より早い6月上旬の見込みです。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県中地方の露地栽培は、平年並の5月中旬から定植が行われています。強風による芯折れや低温により、節間が短く、葉色が薄いほ場が一部で見られています。県北地方の雨よけ栽培は、平年並の4月中旬から定植が行われ、5月中旬より収穫が開始されています。側枝の発生は良好で、生育は順調に進んでいます。

病害虫は、一部のほ場で黒星病やべと病、ハダニ類やアザミウマ類の発生が見られています。

2 トマト

県南地方では、平年並の4月下旬から5月上旬にかけて定植が行われ、3段果房が開花していますが、徒長傾向にあるほ場が見られています。気温が高く経過していることから、平年より早い6月上旬から出荷開始となる見込みです。南会津地方では、5月中旬から定植が行われています。育苗期に気温が高く経過したことから、生育はやや早まりましたが、その後の低温により、概ね平年並の生育となっています。

3 さやいんげん

県中地方では5月中旬から定植が行われています。会津地方では4月下旬から定植が行われ、5月中旬に完了しました。気温が高く経過していることから、生育はやや早まっています。

病害虫は、一部のほ場でアザミウマ類の発生が見られています。

4 ピーマン

県中地方のトンネル栽培は、平年並の4月下旬から5月上旬にかけて定植が行われ、3番花が開花しており、生育は順調に進んでいます。露地栽培は、5月下旬から定植が行われています。

5 春ブロッコリー

相双地方の3月上旬定植ほ場では、生育が早まり、5月下旬より収穫が開始されています。収穫のピークも平年より早い6月上旬から中旬になる見込みです。

病害虫は、一部で菌核病が発生しており、チョウ目害虫が広く見られています。

【果 樹】 (福島県農業総合センター果樹研究所における6月3日現在の生育概況)

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が45.7mm(平年比129%)、側径が40.3mm(平年比142%)、「ゆうぞら」は縦径が47.7mm(平年比134%)、側径が36.9mm(平年比141%)と、両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、両品種ともに平年より大きくなっています。

また、「あかつき」における硬核期開始は、5月28日で平年より12日早くなりました。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が26.2mm(平年比118%)、横径が30.5mm(平年比123%)、「豊水」は縦径が31.2mm(平年比129%)、横径が33.5mm(平年比134%)と、両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、「幸水」は平年並、「豊水」は平年よりやや大きくなっています。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が34.4mm(平年比113%)、横径が36.1mm(平年比117%)、「ふじ」は縦径が34.1mm(平年比121%)、横径が32.3mm(平年比124%)と、両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、両品種ともに平年並となっています。

4 病害虫の発生

果樹カメムシ類の発生が平年に比べて多い地域があります。モモせん孔細菌病、ナシ黒星病の発生が一部で確認されるため、梅雨期に向けて果樹情報等を発行して注意を喚起し、現地における耕種的防除や防除対策の徹底を図っています。

【花 き】

1 キク類

8月咲きは、4月中旬から下旬にかけて定植作業が行われ、4月下旬から5月上旬にかけて摘心作業が行われました。生育は順調に進んでおり、草丈は平年並です。葉数は概ね平年並ですが、一部では平年比120%程度と多い所があります。

9月咲きは、5月中旬から下旬にかけて定植作業が行われ、その後順次摘心作業が進められています。

病害虫は、多数の地域でアブラムシ類、アザミウマ類が発生しており、一部地域でカメムシ類の吸汁被害やヨトウムシ類による食害が見受けられます。

2 リンドウ

生育は、8月盆及び9月彼岸のいずれの作型でも、概ね平年並の草丈と葉数となっています。一部、降雨の少ない地域では、草丈の短い様子が見られます。また、早い地域では6月上旬に早生系統の品種が上位側芽発生期となっており、そのほかの地域でも徐々に早生系統において上位側芽の発生が見え始まっています。

病害虫は、一部地域でアザミウマ類、リンドウホソハマキ、アブラムシ類、葉枯病が発生しています。

【飼料作物】

牧草は順調に生育しています。一番草は5月中旬から収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています。収量は概ね平年並となる見込みです。

飼料用トウモロコシは4月下旬から始まった播種作業がほぼ終わり、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>